

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院産婦人科では、下記の臨床研究に、試料・情報を提供しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

提供先の研究課題名：卵巣奇形腫を伴う抗 NMDA 受容体抗体脳炎における卵巣奇形腫の手術時期および術式と脳炎の短期的転帰との関連をみる調査

1. 提供先の研究に関する情報

1) 研究の目的や概要について

若い女性に好発する抗 N-methyl-D-aspartate (NMDA) 受容体 (R) 抗体脳炎は、脳の興奮性神経伝達物質であるグルタミン酸の受容体である NMDA 型受容体に自己抗体ができることによる急性型の脳炎で、卵巣奇形腫との関連が指摘されています。本疾患においては、未だに実態が把握されていません。そこで、全国の婦人科腫瘍登録施設産婦人科を対象に、症例に関する回答が得られた 88 施設を対象に、抗 NMDAR 脳炎の診断、卵巣奇形腫の手術時期、術式、奇形腫（嚢腫）の数、大きさ、病理結果、転帰についての調査を実施し、手術時期ならびに手術術式による抗 NMDAR 抗体脳炎の短期における転帰の相違について解析を行います。

宮崎大学 産婦人科 大西 淳仁（講師）

熊本大学 田代 浩徳（教授）

2) 研究実施予定期間

承認の日から 2019 年 3 月 31 日まで

2. 対象者

提供する試料・情報の対象となるのは、2007 年 1 月から 2017 年 12 月に本院産婦人科に入院され、抗 NMDA 受容体抗体脳炎の治療を受けられた方となります。

3. 提供する試料・情報の内容

対象となる方について、下記の内容の試料・情報を、下記の研究機関に対して提供いたします。（匿名化する場合は）なお、提供する際は、対象となる方のプライバシーを保護するため、個人情報などは数字や記号に置き換えて提供いたします。

- 他機関に提供する試料・情報について
 - 熊本大学
 - 田代 浩徳（教授）
 - 診療情報
- 試料・情報に含まれる個人情報の匿名化について（匿名化する場合）
 - 匿名化の種類
 - ◇ 匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工または管理されたものに限る）

4. ご質問などの連絡先

この研究に関して疑問、質問があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院産婦人科

職名：講師 氏名：大西 淳仁

電話：0985-85-0988

FAX：0985-85-6149